

浜田まさよし通信



www.hamada-m.com

発行日：2015年8月発行／公明党参議院比例区第8総支部



小野所長から業務改善状況の報告



高線量高台から1、2、3号炉を概観



敷地内舗装が進み、半面マスク現場作業が可能に

7月6日、廃炉措置等のロードマップ改訂を受け、東京電力福島第一原発に現場調査

昨年4月の田村市、10月の川内村に続き、9月5日全町避難で初めて楢葉町が避難指示解除となります。明年春に向けて、川俣町、葛尾村、南相馬市も順次避難指示解除の予定。また、第一原発が立地している大熊町、双葉町においても、2018年以降の復興拠点作りが進められています。

帰還される皆様にとっての切なる願いである「安全・安心な廃炉の実現」に向けて、福島第一原発の現場調査に入りました。4号炉の使用済み燃料棒取り出しは昨年末に無事終了しましたが、1号炉から3号炉はこれからです。

6月12日、原子力災害対策本部会合を開き、廃炉措置等のロードマップ（工程表の見直しを行い、「安全・安心」を実現するため、3号炉は2017年から、1号炉及び2号炉は2020年からの取り出しとしました。



免震重要棟での激励の挨拶

7月6日当日は、日夜緊張の続く業務に従事している皆さんに、免震重要棟で激励の挨拶をさせていただきましたとともに、小野所長から業務状況の報告を受けました。

また、福島給食センターもオープン。6月から昼夜3000食の「温かい食事」を、作業に従事されている方々に、保温・保冷して届けさせていたただく体制も実現。30〜40年とも言われる廃炉作業を着実に進めて参ります。

福島給食センターから提供される食事例（定食、丼物等、毎日変わる5メニューがあります）



安全・安心な廃炉の実現へ

NPT運用検討会議に向け、「核兵器のない世界の実現のため、積極外交を展開」

4月から5月にわたり、核軍縮・核不拡散全般の運用のあり方を検討する、5年ごとのNPT（核不拡散条約）運用検討会議が開催。公明党核廃絶推進委員会座長として、運用検討会議議長を始め、パグウォッシュ会議事務総長、EU（欧州連合）軍縮担当特使などと議員平和外交を積極的に展開させて頂きました。

また、山口代表とともに岸田外務大臣に対し、NPT運用検討会議での積極的外交努力を申し入れました。結果として、中東問題で合意文書は採択できませんでしたが、法的枠組み検討着手については合意形成がなされるなど、大きな成果を得ることが出来ました。



外務大臣へ要望 3月20日



パグウォッシュ会議コッタ・ラムジー事務総長と面談 4月6日



NPT再検討会議フェルーキ議長と懇談 4月1日



EU不拡散・軍縮担当ヤツェク・ピリツァ特使と意見交換 2月25日

4月の統一地方選挙 神奈川・静岡、完全勝利させて頂きました！



浜松市西区 3月14日



横浜市神奈川区 4月5日



相模原市中央区 3月11日



横浜市中区 4月4日

送付のご案内 最近の活動状況について「浜田まさよし通信 vol.25」を作成しました。ご高覧頂ければ幸いです。

今、神奈川・静岡・福島を中心に活動展開中！

浜田まさよしプロフィール

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち
- 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選。平成22年再選、現在2期目。外務大臣政務官、参議院予算委員会理事、法務委員長、公明党参議院政務会長、同原発災害対策本部事務局長、同福島復興再生推進プロジェクトチーム事務局長、同通学路の安全対策プロジェクトチーム座長等を経て、現在、復興副大臣、公明党中央幹事、同核廃絶推進委員会座長、同神奈川県本部代表代行、同静岡県本部顧問、同福島県担当 等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長

メールマガジン 毎週月曜日 配信中！

登録用QRコード

facebook ご利用の方は

空メールを送れば登録完了されます。

復興副大臣就任からの主なできごと(年表)

- 平成24年(2012年)
 - 12月26日 第二次安倍内閣発足
 - 12月27日 復興副大臣拜命(1期目)
 - 平成25年(2013年)
 - 2月1日 「福島復興再生総局」を設置
 - 2月2日 ワンストップ化を目指し福島復興再生総局の看板掛け
 - 3月24日 安倍総理大臣の福島視察に同行(浪江町、富岡町、郡山市)
 - 3月28日 県外での移動教室に参加した伊達市の「子ども記者」と懇談
 - 4月26日 長期避難者の生活拠点の整備などを柱とする「福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律案」が成立
 - 7月1日 安倍総理大臣の福島視察に同行(いわき市、楡葉町、広野町)
 - 8月10日 二本松市の豪雨災害被害家屋の調査
 - 9月25日 3年ぶりに米を出荷する広野町において全量全袋検査が開始
 - 9月30日 副大臣再任(2期目)
 - 10月10日 広野町の収穫米の全袋検査の状況を視察
 - 10月11日 子ども被災者支援法の基本方針を閣議決定
 - 10月19日 安倍総理大臣の福島視察に同行(相馬市等)
 - 11月22日 解体除染に向けて富岡町の家屋の実態調査
 - 12月11日 「原子力損害に関する時効特例法」が公布・施行
 - 平成26年(2014年)
 - 2月22日 常磐道「常磐富岡IC～広野IC間」再開通
 - 3月8日 安倍総理大臣の福島視察に同行(いわき市等)
 - 4月1日 田村市において避難指示が解除される
 - 4月14日 被災ペットのシェルターを訪問(三春町)
 - 5月17日 安倍総理大臣の福島視察に同行(福島県立医科大学等)
 - 6月1日 J R常磐線「広野～竜田間」運転再開
 - 7月7日 J R常磐線竜田駅までの再開通視察
 - 8月26日 全町避難で初めてコンビニ営業再開の記念式典に出席(浪江町)
 - 8月31日 原発事故避難者を対象とした初の復興公営住宅完成
 - 9月4日 副大臣再任(3期目)
 - 9月15日 浜通り・国道6号線が全線開通
 - 9月17日 安倍総理大臣の福島視察に同行(川内村、大熊町等)
 - 9月18日 大熊町から復興まちづくりビジョンの説明を伺う
 - 9月28日 双葉郡の復興イベントに出席(川内村)
 - 10月1日 川内村において避難指示が解除される
 - 10月23日 東京電力新福島変電所緊急視察(富岡町)
 - 12月6日 常磐道「山元IC～相馬IC間・南相馬IC～浪江IC間」開通
 - 12月23日 郡山市の仮設住宅で富岡町等からの避難者と意見交換
 - 12月25日 副大臣再任(4期目)
 - 平成27年(2015年)
 - 1月9日 再生可能エネルギー導入に関する福島県における特別措置決定
 - 2月28日 安倍総理大臣の福島視察に同行(郡山市、本宮市)
 - 3月1日 安倍総理大臣と共に常磐道全線開通式に出席
 - 3月10日 太田国土交通大臣がJ R常磐線の全線開通を発表
 - 3月13日 中間貯蔵施設へのパイロット搬入開始
 - 3月27日 J R常磐線復旧促進協議会に座長として出席
 - 4月8日 福島県立ふたば未来学園高等学校開校
 - 4月24日 「一団地の復興再生拠点整備制度の創設」や「事業再開のための課税の特例」等を柱とする「福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律案」が成立
 - 5月9日 土湯温泉小水力発電所竣工式に出席(福島市)
 - 5月31日 安倍総理大臣の福島視察に同行(福島再生可能エネルギー研究所等)
 - 6月12日 原子力災害対策本部で福島復興指針改定(2017年春解除へ)
 - 6月24日 次の5年間「復興・創生期間」の枠組み決定
 - 7月6日 東京電力福島第一原子力発電所を視察
 - 7月10日 子ども被災者支援法の基本方針改定案を発表
 - 7月30日 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言
 - 7月31日 福島県再生可能エネルギー復興推進協議会設立
 - 9月5日 全町避難で初めて楡葉町において避難指示が解除
- 《青：写真付き 赤：法律関係 紫：安倍総理に同行》



復興庁で就任記者会見 (H24.12.28)



復興副大臣に再任 (H25.9.30)



安倍総理の福島視察に同行 (H26.9.17)



福島特措法で答弁 (H27.4.22)



常磐自動車道全線開通式に出席 平成27年3月1日



JR常磐線竜田駅までの再開通視察 平成26年7月7日

常磐自動車道・JR常磐線が全線開通へ

3月1日には遂に常磐自動車道が全線開通、大熊・双葉の新たなICも決定。さらに、3月10日には太田国土交通大臣からJR常磐線全線開通も発表。モノやヒトを運び、心をつなぐ交通インフラの再生に全力で取り組みます。



安倍総理大臣と共に西山地熱発電所を視察(柳津町) 平成27年5月31日



安倍総理大臣と共に福島再生可能エネルギー研究所を視察(郡山市) 平成27年5月31日



東京電力新福島変電所緊急視察(富岡町) 平成26年10月23日



土湯温泉小水力発電所竣工式に出席(福島市) 平成27年5月9日

再生可能エネルギーで「福島を再生」

太陽光、風力、地熱、小水力など、具体的なプロジェクトが次々実現。富岡町の東京電力変電所から直接首都圏に届けることも可能となります。



安倍総理大臣と共にJR浪江駅前商店街を視察(浪江町) 平成25年3月24日



安倍総理大臣と共に福島県立医科大学を視察(福島市) 平成26年5月17日

8度にわたり安倍総理福島視察に同行

安倍政権の掲げる「福島の復興なくして日本の再生なし」を実現するため、全町避難が続く浪江町、放射線の安全・安心対策を進める福島県立医大などを案内しました。

復興副大臣として2年8ヶ月、今後も福島「復興・創生」に全力!



双葉郡の復興イベントに出席(川内村) 平成26年9月28日



大熊町から復興まちづくりビジョンの説明を伺う 平成26年9月18日



郡山市の仮設住宅で富岡町等からの避難者と意見交換 平成26年12月23日

避難指示12市町村の明るい未来へ

避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域。それぞれの地域の方々が希望を持っていただけ、現場の方々のご意見をお伺いし、一つ一つをカタチにしてみました。



収穫米の全袋検査の状況を視察(広野町) 平成25年10月10日



富岡町の家屋の実態調査 平成25年11月22日



浪江町のコンビニ営業再開の記念式典に出席 平成26年8月26日



ワンストップ化を目指し福島復興再生総局の看板掛け 平成25年2月2日



伊達市の「子ども記者」と懇談 平成25年3月28日



二本松市での豪雨災害被害家屋調査 平成25年8月10日



被災ペットのシェルターを訪問(三春町) 平成26年4月14日

小さな声もワンストップで実現へ

除染は環境省、賠償等は経済産業省、インフラ復旧は復興庁と一元化されていない当時の状況を改善するため、就任早々「福島復興再生総局」を設置。きめ細かな支援体制をスタートさせました。